

平成26年度 奈良市の

わかりやすい 決算書

市民のみなさんから
お預かりしているお金の使い道などを
わかりやすくご説明します。



奈良市のわかりやすい決算書



市民のみなさんには、日ごろから奈良市のまちづくりに対して深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

「奈良市のわかりやすい決算書」の作成は3回目となります。

前回に引き続きこの「わかりやすい決算書」は、はじめて市の決算に触れる市民のみなさんにも、本市の財政状況や市が行なっている取組について理解していただけるようにと、身近な表現を心がけて作成しました。

本市の財政状況は依然厳しいものがあります。そのなかで効果的で未来につながる魅力的な施策を実行するためには、市民のみなさんの理解と協力が不可欠です。

この冊子を通して、奈良市の財政状況について理解を深めていただければ幸いです。

奈良市長

目 次

基礎知識～決算とは～	2
詳しく見てみよう～収入～	4
詳しく見てみよう～支出～	6
用 語 編	7
未来の奈良市のために（事業編）	8

基礎知識～決算とは～

Q 決算ってなんですか？

A 決算とは、1年間（4月～翌年3月）の収入（入ったお金）と支出（使ったお金）をまとめたものです。

決算を議会へ報告することが、法律で決められています。みなさんが納めている税金が正しく使われているかどうか、市民の代表である議会がチェックしています。

Q 収入ってどこから入るの？

A 奈良市の収入の約4割が、みなさんが納めている税金です。

税金には個人市民税（個人が納める税）、法人市民税（会社が納める税）、固定資産税（土地・家屋などにかかる税）などがあります。

その他には国や県から配分されたお金や、銀行などから借りたお金、いままで貯めたお金を取り崩したものなどがあります。

Q 支出って何に使っているの？

A 奈良市では計画的に何にお金を使うかを決めた予算をもとに、みなさんが必要とする様々なものにお金を使っています。

学校や道路、公園などの整備や、ごみの処理もその1つです。

市民1人あたりにしてみると？

市民1人あたりの決算額
約 34 万 7 千円



子育て支援や
高齢者の医療など
14万4千円



教育や文化の振興
3万3千円



消防・救急
1万1千円



借金の返済
5万1千円



環境や衛生の向上
2万9千円



商業・観光・
農林水産業の振興
8千円



市の運営
4万7千円



道路や公園、住宅
などの整備
2万4千円

※一般会計の決算

Q 平成26年度の奈良市の決算は？

収入総額

1,266億6,250万円

支出総額

1,259億1,517万円

市民の皆さんや
市内の事業所が納めた税金

【市税】

国から配分されたお金

【譲与税・交付金】

国や県が必要だと認めた事業
に対して、配分されたお金

【国・県支出金】

借金

【市債】

その他

頑張った残したお金

約7億円

保育園の運営
生活保護、高齢者や
障がい者の支援

【民生費】

庁舎の管理運営

【総務費】

ごみの処理など

【衛生費】

道路や公園の整備

【土木費】

学校の整備、運営

【教育費】

借金の返済

【公債費】

その他

A

上の図のとおり、平成26年度の奈良市の一般会計は、歳入総額（入ってきたお金の総額）が1,266億6,250万円で、歳出総額（使ったお金の総額）が1,259億1,517万円でした。

その差し引きが約7億円ですが、今年度するつもりでできなかった仕事を翌年度にするために必要なお金が約1億円必要ですので、それを差し引いた約6億円が実際に手元に残った額になります。

詳しく見てみよう～収入～

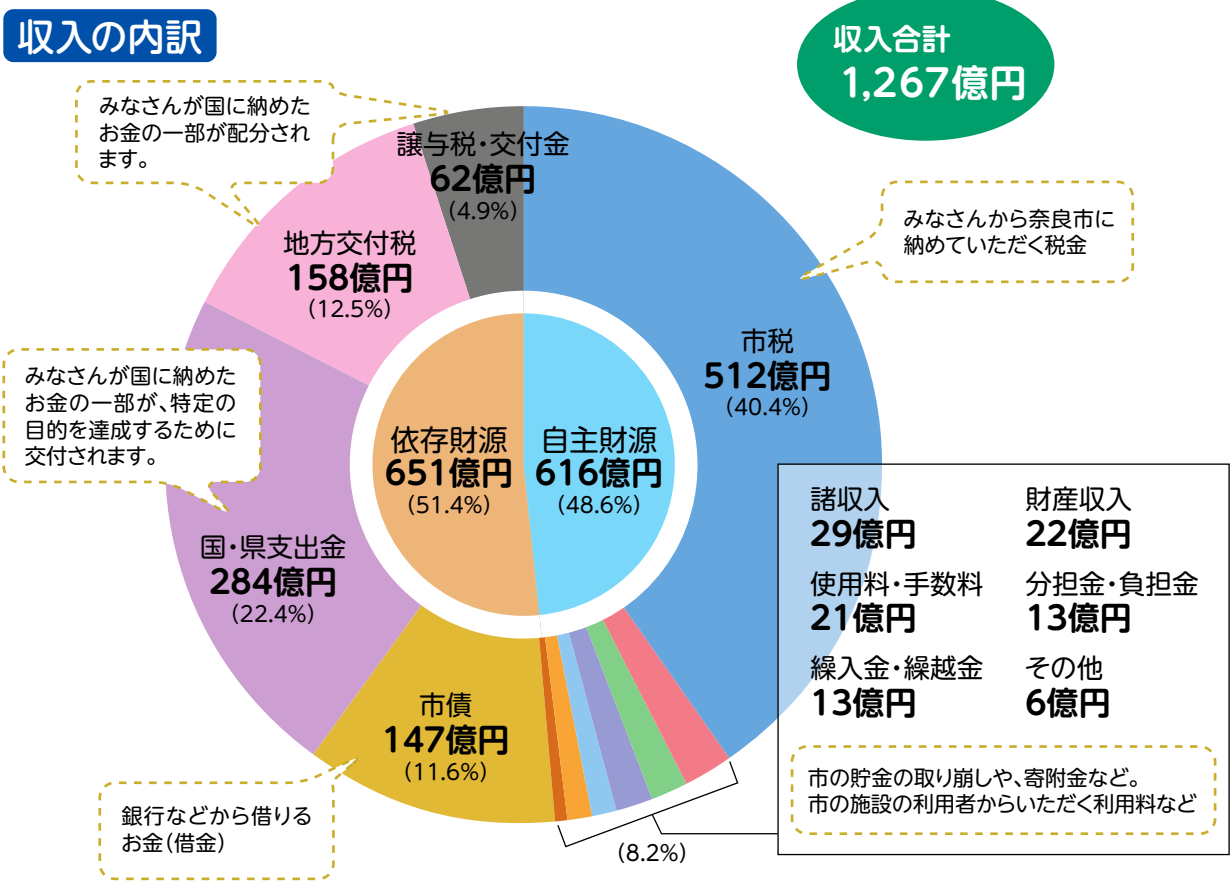
Q 市の収入ってどんなもの？

A 収入で一番多いのは税金です。

税金には奈良市内に住んでいる人などが納める個人市民税、奈良市内に事務所などがある法人が納める法人市民税、奈良市に土地や家などを持っている人が納める固定資産税などがあります。

国に納めたお金の一部が配分された地方交付税は国からもらえるお金の中でも使い道が決められていないもので、市にとっては重要な収入になります。

下のグラフに収入の内訳を示します。



Q 昨年度と比べて？

A 平成25年度と比べて約34億円増加しました。

市税は約1億3千万円増加しましたが、法人市民税や固定資産税が増加したことが要因です。国・県支出金は約10億円増加しました。国から臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の補助金があったことが要因です。

市債は約12億円減少しましたが、退職手当のために借りるお金が減少したことが要因です。

市税は他の中核市と比較して45市中31位と多い方ではないですが、徴収率アップに努力し、収入の確保に努めています。

Q 市債ってなんですか？

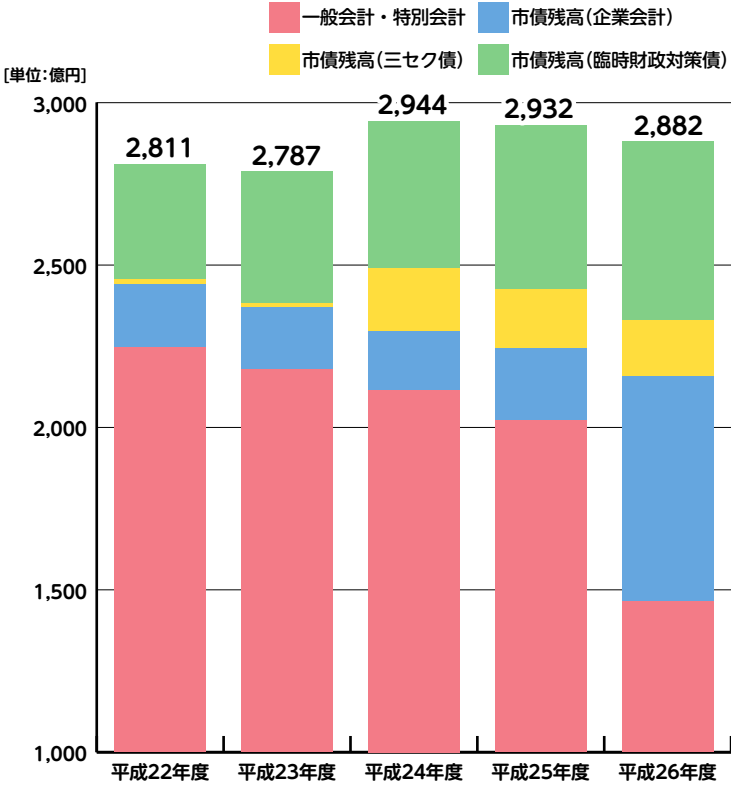
A 市債とは銀行などから借り入れた借金になります。

右の表を見てもらうとわかるように、借り入れを抑制し、返済を行ってきたことで、平成26年度末の市債残高は、一般会計・特別会計・公営企業会計で約2,882億円となっています。

年々減っていますが、市民一人当たりになると約80万円と大きな金額であることには変わりはありません。

なぜ、市債を借り入れるのかということですが、お金が足りないためという理由のほかに、みんなで負担を分か合うということがあります。学校や公園や道路など、何年にもわたって使うものについては、何年にもわたって借金を返していくことで、今の人だけではなく、将来つかうであろう人も公平に負担するためです。

市債残高の状況



これからの取組について

これからも仕事のやり方を見直したり、効率化を図ったりいろいろな取組を行っていくことで、支出と借金を減らす努力を続けていきます。

また、様々なイベント、事業などを行うことで、奈良市の魅力を発信し、多くの人に奈良市に来てもらい、奈良市の収入増加につなげていきます。



詳しく見てみよう～支出～

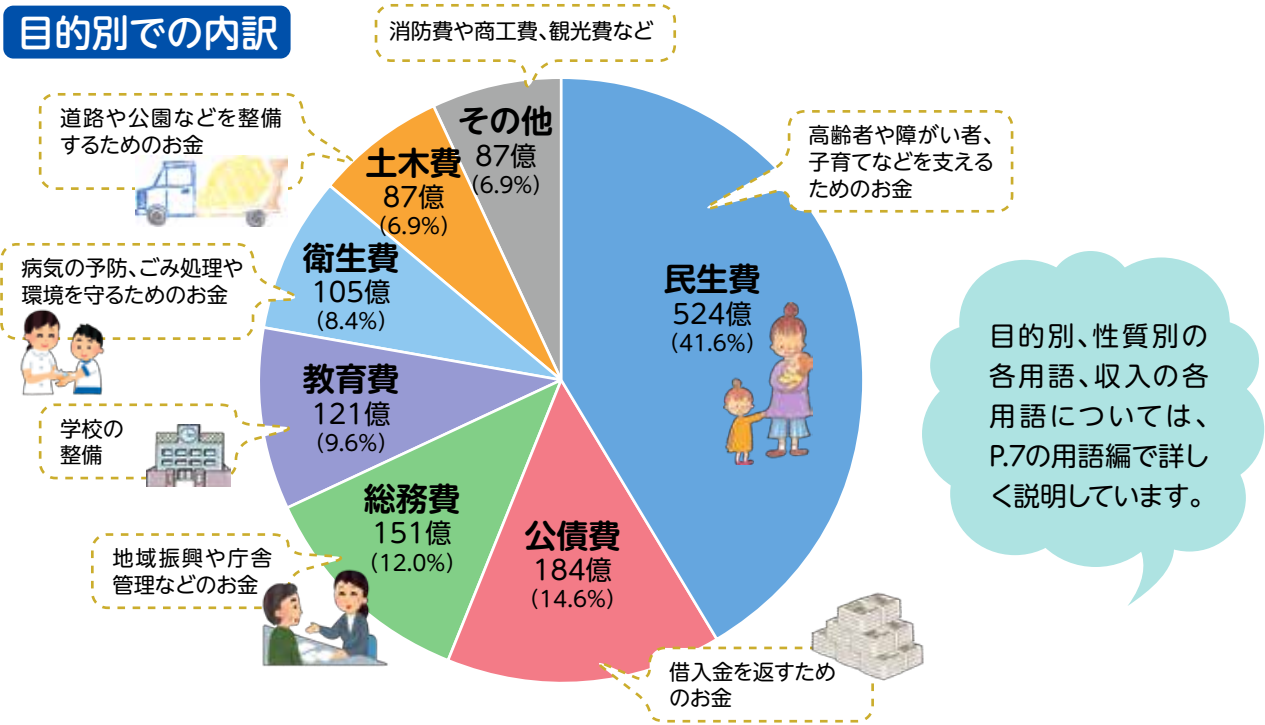
用語編

今まで出てきた言葉をもう一度整理します。

Q お金の使い道ってどんなもの？

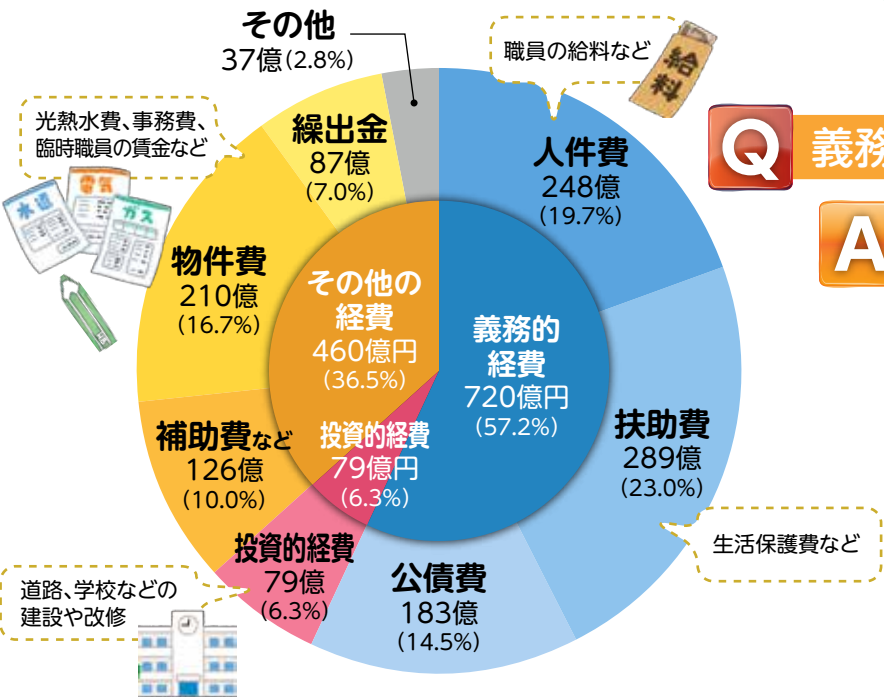
A 下の2つのグラフに平成26年度のお金の使い道を示しています。
【何のために使ったのか】が目的別、【どういう用途にお金を使ったのか】が性質別という分け方をしています。分け方が2通りあるため、2つのグラフがありますが、お金の合計は同じです。
同じものを違う見方をする事で、どんなことに力を注いだかわかります。

目的別での内訳



目的別、性質別の各用語、収入の各用語については、P.7の用語編で詳しく説明しています。

性質別での内訳



支出合計
1,259億円

Q 義務的経費ってなんですか？

A 義務的経費は毎年必ず支出しなければいけないもので、人件費と扶助費と公債費からなります。
平成26年度奈良市の決算では50%を超えていますが、この経費が占める割合が多いほど、新しいことや独自のことをするのが難しくなります。

支出の分類

【目的別】 ～何のために～

項目	説明
議会費	議員の報酬や議会運営などに係る経費
総務費	市役所の全般的な仕事にかかる経費
民生費	児童、高齢者の支援や生活保護に係る経費
衛生費	医療やごみの収集処理などに係る経費
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などに係る経費
農林水産業費	農林業の振興に係る経費
商工費	中小企業の育成、企業誘致に係る経費
観光費	観光振興に係る経費
土木費	道路、河川、住宅、公園などの整備に係る経費
消防費	災害から市民を守るための経費
教育費	学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護などの経費
災害復旧費	大雨、暴風、地震などの災害により被災した施設の復旧に係る経費
公債費	借金の返済
諸支出金	他に含まれないもの
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金

【性質別】 ～どんなことに～

項目	説明
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費
人件費	職員の給料など
扶助費	生活保護費、障がい者支援費などの福祉医療に係る経費
公債費	借金の返済
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模な改修などの整備に係る経費
その他の経費	
物件費	光熱水費、事務費、臨時職員の賃金など
維持補修費	施設の維持管理経費
補助費など	補助金、負担金など
積立金	基金への積立金
投資・出資金	他の会計に対する出資金
貸付金	市が一時的に貸し出す経費
繰出金	特別会計の収入を補うための経費
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金

収入の分類

項目	説明
自主財源	市が自主的に調達できる収入
市税	奈良市に納められた税金
分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金
使用料及び手数料	施設の利用や証明書を発行する際にいただくお金
繰入金	各種基金を取り崩して使うお金
その他	寄附金や、不動産売却などの財産収入、前年度からの繰越金など
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられる財源や市債
譲与税・交付金・交付税	みなさんが国に納めた税金の一部。使い道は自由
国・県支出金	みなさんが国に納めた税金の一部。使い道は決められている
市債	銀行などからの借入れ(借金)

平成 26 年度 主な事業の成果

奈良町にぎわい構想

担当：奈良町にぎわい課

平成26年度決算額 **2,493**万円

■ ならまち町家建物内部改修モデル事業費補助金

町家保存のモデル事業として、町家で住み続け活用していくための内部改修に要する費用の一部に補助を行い、町家保存の充実に努めました。

ならまちナイトカルチャー・出前カルチャー

担当：奈良町にぎわい課

平成26年度決算額 **581**万円

奈良町で夜のひとときを楽しんでいただくためのイベント「ならまちナイトカルチャー」の充実と、修学旅行のための「出前カルチャー」を実施することで観光客・修学旅行の誘致促進を図りました。



奈良市の食 × 観光PR

担当：奈良ブランド推進課

平成26年度決算額 **931**万円

奈良市の食と魅力を全国にPRするため、東京駅前『丸の内ハウス』で、奈良市産の食材を用いた期間限定メニューを味わうことができるイベントを開催しました。

いちごブランド化PR

担当：奈良ブランド推進課

平成26年度決算額 **60**万円

奈良市産いちご「古都華」の知名度とイメージを高め、古都ならが誇るブランドとして確立させるため、奈良市を訪れる修学旅行生に「古都華」を振る舞いました。



リニア中央新幹線新駅誘致推進

担当：リニア推進課

平成26年度決算額 **1,791**万円

リニア中央新幹線新駅の奈良市への設置実現及び東京大阪間の早期全線開通を目指して、イベントやPR活動等を行い誘致に向けた取り組みを進めました。

子育て世帯向け空家改修

担当：住宅課

平成26年度決算額 **2,518**万円

市営住宅定期空家募集において、これまでの募集枠に加えて、低所得者で住宅に困窮する小学校就学前の児童がいる子育て世帯を対象として、新たに「子育て世帯向け特定目的の市営住宅」の募集枠を設定し、それに伴う空家改修工事を実施しました。

市街地家庭ごみ収集委託

担当：収集課

平成26年度決算額 **1 億 5,600**万円

コスト削減を図るため、家庭系ごみの収集運搬業務の委託を拡大しました。

ICT教育

担当：教育総務課

平成26年度決算額 **1,544**万円

子どもたちの学力向上、思考力、判断力、表現力等の育成に資するため、ICTの活用をICT戦略会議で検討し、「奈良市版フューチャースクール構想」に向けた効果検証を行うための機材を整備しました。また、世界遺産学習の独自デジタル教材を作成しました。

学校園の耐震化

担当：こども園推進課 教育総務課

平成26年度決算額 **4 億 8,486**万円

現在の耐震基準を満たしていない学校園の校舎・園舎等を耐震化しました。また、飛鳥小学校やあやめ池小学校の校舎改築を行い、引き続き27年度も工事を行っています。

公立幼稚園預かり保育

担当：こども園推進課

平成26年度決算額 **1,838**万円

平成26年度より3園を追加し、全部で9園で預かり保育を実施し、保護者の就労の有無や就労形態の多様化に対応し、様々な保育ニーズにこたえることができました。

帯解認定こども園の園舎建設

担当：子ども政策課

平成26年度決算額 **3 億 7,010**万円

保護者の多様化する保育ニーズに応え、かつ質の高い幼児教育・保育の実施と子育て支援の充実を図るため、帯解幼稚園と帯解保育園を再編し一体化した帯解こども園の開園に向け、園舎の建設を行いました。



奈良阪川上線の道路整備

担当：道路建設課

平成26年度決算額 **5,198**万円

新市建設計画に基づき、市東部地域の活性化と国道369号線の渋滞緩和を図るため、奈良市中ノ川町から木津川市梅美台を結ぶ新設道路の整備を進め、平成27年3月に開通しました。

鴻ノ池陸上競技場インフィールド他改修工事

担当：スポーツ振興課

平成26年度決算額 **8,540**万円

鴻ノ池陸上競技場の芝生部分を100mから107mに拡張し、サッカーやラグビーの公式試合も開催できる多目的な第1種公認陸上競技場に改修しました。



奈良市ポイントカード制度

担当：協働推進課 長寿福祉課

平成26年度決算額 **784**万円

ボランティア活動へのきっかけづくりと地域に根差したボランティア活動を促進することで、市民参画への意識を向上させることを目的とした「ボランティアポイント制度」を平成27年1月に開始しました。

また、70歳以上の市民に対しても健康的で生きがいのある生活を送っていただくために、同様のポイントを付与し、利用できるようにしました。



奈良市のわかりやすい決算書

□発 行 奈良市
□お問合せ 奈良市 財務部 財政課
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号
電話 0742-34-4720 FAX 0742-34-4755